

関西大学大学院商学研究科へ進学を希望する方へ

関西大学大学院商学研究科に進学するにあたって、入学までに最低限理解しておいて欲しいと思われる内容が含まれる、基本的な図書等の一例を下記のとおり紹介します。進学準備に際して参考にしてください。

【商学】

- 1 崔容熏・原頼利・東伸一（2014）『はじめての流通』有斐閣
* 商業学・流通論全般についてわかりやすく紹介している基本書です。
- 2 フィリップ・コトラー、ゲイリー・アームストロング他著、恩蔵直人監訳（2022）
『コトラーのマーケティング入門[原書14版]』丸善出版
* マーケティングの基礎と応用について過不足なく紹介している世界的にスタンダードなテキストです。
- 3 矢作敏行（2021）『コマースの興亡史—商業倫理・流通革命・デジタル破壊』
日本経済新聞出版
* 日本の小売業の興亡盛衰を、西欧の事例と比較しながら、理論的かつ実践的にバランス良く分析した基本書です。
- 4 青木幸弘、新倉貴士、佐々木壮太郎、松下光司編（2012）『消費者行動論』
有斐閣アルマ
* 消費者行動と広告効果に関するテキストで幅広く読まれている基本書です。
- 5 苦瀬博仁編著（2021）
『ロジスティクス概論 増補改訂版—基礎から学ぶシステムと経営—』白桃書房
* ロジスティクスを体系的に理解できるようわかりやすく紹介している基本書です。
- 6 広瀬盛一、岸谷和広、田部溪哉、峯尾圭（2024）
『これからの広告コミュニケーション』有斐閣
* 本書は「観光学」を経営学、経済学、地域再生、文化といった多面的な視点から体系的に学べる構成となっており、初学者にも読みやすい最適な教材です。
- 7 大橋昭一・山田良治・神田孝治（編）（2016）
『ここからはじめる観光学：楽しさから知的好奇心へ』ナカニシヤ出版
* 本書は「観光学」を経営学、経済学、地域再生、文化といった多面的な視点から体系的に学べる構成となっており、初学者にも読みやすい最適な教材です。

【経営学】

- 1 「よくわかる現代経営」編集委員会編（2025）『よくわかる現代経営（第8版）』
ミネルヴァ書房
*商学部マネジメント専修の教員が、各自の教育担当分野の基本についてわかりやすく紹介している本です。
- 2 井原久光（2008）『テキスト経営学 基礎から最新の理論まで（第3版）』
ミネルヴァ書房
*経営学の基本について幅広く触れられています。
- 3 伊丹敬之・加護野忠男（2022）『ゼミナール経営学入門（新装版）』または
同（2003）『ゼミナール経営学入門（第3版）』 日本経済新聞出版社
*経営学の出題テーマのいくつかについて根本から理解したい時に参考になります。なお、新装版と第3版の内容は同一です。

【経済学】

- 1 高屋定美・石田和之編著（2022）
『ビジネスを学ぶためのミクロ経済学入門（第1版第5刷）』
中央経済社、（第1刷～第4刷を持っている人は、中央経済社のWebsiteから正誤表を入手してください。）
*ミクロ経済学の内容だけではなく、取引費用やCSRといったビジネスに必須の要素もわかりやすく紹介しており、事例を通して経済学の理解に役立ちますので、進学を検討している人に理解しておいてもらいたい内容です。
- 2 マンキュー、N. G. 著／片桐満ほか訳（2025）
『マンキュー経済学＜1＞ ミクロ編（第5版）』ゼンゲージラーニング
*基本的なミクロ経済学の教科書なので、精読することを勧めます。
- 3 マンキュー、N. G. 著／片桐満ほか訳（2025）
『マンキュー経済学＜2＞ マクロ編（第5版）』ゼンゲージラーニング
*基本的なマクロ経済学の教科書ですが、最新のトピックスも扱っています。
- 4 ダロン・アセモグル、デヴィッド・レイブソン、ジョン・リスト著／岩本康志ほか訳
（2020）『ALL ミクロ経済学』東洋経済新報社、第5章～第14章
*基本的なミクロ経済学の教科書ですが、最新のトピックスも扱っています。

【会計学】

- 1 乙政正太編著（2026）『アカウンティング：現代会計入門（7訂版）』同文館出版
* 商学部会計専修の教員が、各自の教育担当分野の基本についてわかりやすく紹介している本であり、進学を希望する人には必ず理解しておいてもらいたい内容になります。
- 2 桜井久勝『財務会計講義（最新版）』中央経済社
* 財務会計の定番となっているテキストで幅広く読まれている基本書です。
- 3 廣本敏郎・挽文子（2015）『原価計算論（第3版）』中央経済社
* 管理会計・原価計算の定番となっているテキストで幅広く読まれている基本書です。
- 4 盛田良久・百合野正博・朴大栄編著（2020）『はじめてまなぶ監査論（第2版）』中央経済社
* 監査の全体像および監査制度をわかりやすく解説している基本書です。

【統計学】

- 1 統計検定：<http://www.toukei-kentei.jp/>
 - 2 品質管理検定：<https://www.jsa.or.jp/qc/>
- * 「統計検定」（一般財団法人統計質保証推進協会が実施）の2級、「品質管理検定」（一般財団法人日本規格協会が実施）の2級に準拠のため、これらの出題範囲、レベル等を参照してください。なお、これら検定のいずれかの2級以上の合格者に関しては、専門科目試験が免除されます（詳細については、学生募集要項を参照のこと）。

【税制論】

- 1 増井良啓（2023）『租税法入門（第3版）』有斐閣
- 2 中里実・弘中聡浩・瀧圭吾・伊藤剛志・吉村政穂編（2025）『租税法概説（第5版）』有斐閣
- 3 岡村忠生・酒井貴子・田中晶国（2025）『租税法（第5版）』有斐閣アルマ
- 4 瀧圭吾（2024）『租税法講義』有斐閣
- 5 金子宏・清永敬次・宮谷俊胤・畠山武道（2016）『税法入門（第7版）』有斐閣
* 1から5は、いずれも税制を法的視点から学ぶための入門書です。
- 6 金子宏（2021）『租税法（第24版）』弘文堂
* 税制を法的視点から学ぶための体系書です。
- 7 増井良啓・宮崎裕子（2019）『国際租税法（第4版）』東京大学出版会
* 国際課税の基本書です。